

●Meet the GLOBE Project 参加の皆さんこんにちは！

初めまして、Meet the GLOBE Project スタッフの津越千佳・巳波景子です。日本では一気に寒さが増し、木枯らしの吹く厳しい毎日ですが、いかがおすごでしょうか。2005 年も、隊員の皆様、学校の先生方にお世話になりました。2006 年もどうぞよろしくお願い致します。

今年最後のMeet The GLOBE 通信は学校間交流の発表会が盛んに行われましたので、発表会に参加したMTGスタッフと発表を聞いた学生の感想文を中心にお送りしたいと思います。

おしながき

1)高槻市立三箇牧小学校「メール交換学習まとめ発表会」の感想

MTGスタッフ 長谷川蘭子

2)大阪府立芥川高校「パレスチナ訪問の報告」を聞いて

大阪府立芥川高校生より感想

-----<高槻市立三箇牧小学校「メール交換学習まとめ発表会」>-----

こんにちは、三箇牧小学校サポート担当の長谷川です。三箇牧小学校では2003年度からMTGに参加し、メール交換学習を実践しております。6年生の生徒達が各班にわかれ、ひとつの班に1ヶ国に隊員さんが割り当てられます。今年は10ヶ国の隊員さんと交流を行ないました。私は今年三箇牧小学校の交流サポートスタッフとして学校を訪問し、何度か授業に参加させて頂きました。そこで今回は12月8日に行われました「メール交換学習まとめ発表会」に参加してきましたのでその様子をお伝えしたいと思います！

発表の順番は国ごとに、1チームずつ前に立って発表という形でした。

それぞれ、「スタディノート」の画面にまとめたことを、パワーポイントのような形でプロジェクタで映し出して発表していました。生徒さん達の緊張も伝わってきましたが、みなさんととても上手く分かりやすく発表していたと思います。国のことを紹介するにあたって、地図や表を使って見やすくしたり、国旗を当てるクイズを出したりと、工夫がたくさん見られました。隊員さんに送っていただいた写真はフル活用していました！「この人が今交流している〇〇さんです」と、隊員さんが写っているお写真を見せていたり、きれいな町並みや民衣装、食べものの写真を紹介していました。

(交流している)国と日本の暮らしを積極的に比較しているチームもありました。例えば「日本ではおやつとしてチョコレートやスナック菓子を食べるが、この国ではおやつとして果物を食べる」とか、「この国の小学校にはおやつの店が入っており、休み時間を買って食べることができる！！日本ではありえない！」「この国では、色を大切に作る国で、曜日ごとにカラーがある。自分の生まれたの曜日は”ラッキカラー”です。日本にはないおもしろい文化です」など、自分達の暮らしと比較し、たくさんの違いや共通点に気がついていると思いました。

また、国の紹介にとどまるのではなく、「世界の子ども達の暮らしを知って自分達の感想・意見」を発表しているチームもありました。例えば、「スモークマウンテンに暮らす人々は、もっと貧しい人達のこと考えて平等にゴミを集めさせるべきだ」という意見がありました。また、同じ国についての紹介なのに違った見方をしているチームもありました。「貧しい、かわいそうな国」という見方をしているチームの一方で、「日本と同じような遊びが流行っているし、僕達の普段とあんまり変わらない」というチームがありました。同じ国のことでも、生徒によって、異文化に対して解釈の仕方が違うどこに焦点をあるのかも違うんだなと思いました。というわけで、生徒さん達がこのメール交換学習を通じて学んだものは大きかったと思わされただけでなく、私自身とっても勉強になる気づきがたくさんあり、とてもよかったです。

植村先生、西田先生、中山先生、お忙しい中色々とお世話になりまして、本当にありがとうございました。今、冬休みをはさみ、引き続き3学期も交流が盛り上がることを願っています！

MTGスタッフ長谷川蘭子

—<高槻市立芥川高校「パレスチナ訪問の報告」を聞いての感想>—

私は岸さんの話を聞いて、どうしてユダヤ人はイスラエル(パレスチナ)に、こだわるのだろうと思いました。いくら昔住んでいたからと言っても、今住んでいるパレスチナ人を押しつけてまで新しい国を作ることにはないと思います。たしかにユダヤ人は戦争の犠牲になって国を追われて苦しい思いをしていたのは分かけど、パレスチナ人に対して自分たちがやられたように国から追い出そうとするなんて、自分たちだけ良ければいいなんて、そういう考え方は違うと思います。イスラエルのパレスチナ人は壁の中に閉じこめられて、その中でパレスチナ人たちが生活していると聞いて、もし、私たちの住んでいる周りを壁で取り囲まれていたらと考えてみたら、すごくいやな気持ちになりました。しかもその壁の入り口にはイスラエル兵がいて、チェックポイントというものを設けて、出入りする人を徹底的にチェックすると聞いて、自分の住んでいる場所に戻るのも大変なんだと思いました。そして岸さんの話を聞いて一番驚いたのが、子どもの頃からパレスチナ人はユダヤ人を、ユダヤ人はパレスチナ人を、お互い敵というか、相容れない間なんだと強く思っている所です。実際、写真で見た子どももそういう強い意志を感じる目をしてました。もうひとつ驚いたのが、壁のせいでパレスチナ人は近い人と結婚してしまい、血が濃すぎるために、耳が聞こえなかったり、目が見えなかったりする人が多いということです。パレスチナ自治区では移動範囲が限られているために親戚同士で結婚してしまうので生まれてくる子供に障がいをもった子どもが多いと聞いて、子

どもには何の罪もないのに大人同士が争って、生まれたときからそれが当たり前というのは、とても悲しいことだと思いました。

芥川高校生 Aさん

最後になりましたが、11月から、新しく加わりました、2回生のメンバーの自己紹介をさせていただきますと思います。

2回生：巳波景子

はじめまして！みなみと読みます。新しくMTGのスタッフとして参加させていただきます。よろしくおねがいいたします。先日初めて阿武山中学校を訪ね、交流発表会を見学させていただきました。実際どのようなメール交換をしているのかほとんど知らなかったのですごく勉強になりました！印象に残ったのが、隊員の方から貰った絵葉書を大事に飾っていたところです。いい交流が出来ることがとても伝わりました。生徒さんの工夫溢れる発表が見れてとてもよかったです。これから私もみなさんの交流の役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします！

2回生：津越千佳

はじめまして、こんにちは。MTGスタッフ新人の津越千佳です。私も、巳波さんと一緒に阿武山中学校の発表会に行ってきました。発表を聞いて、この交流を通して生徒がすごく外国に興味を持っていること、隊員さんが任地国のことを伝えようとする熱意に感動しました。改めて「この活動に参加できてよかった。これから、頑張ろう」と思いました。私はマッチングも担当しています。未熟な点も多いので、アドバイスがありましたら、ぜひ気軽にお声をかけてください。これから2年間、どうぞよろしくお願いいたします！

●ごあいさつ

この「Meet the GLOBE 通信」は以下のメンバーがボランティアで制作します。

このメールマガジンでは、Meet the GLOBE Project 参加校の交流学習の取り組みなど取り上げて報告していきたいと考えています。みなさんにご協力をお願いすることもあると思われませんが、その際にはご協力お願いします。よろしくお願いいたします！



発行・編集 Meet the GLOBE Project (MTG)

スタッフ 関西大学・大学院 岩崎千晶・岡野貴誠・岸磨貴子

吉田千穂・長谷川蘭子・西田亘・坂元信介・平間裕美

谷口ほたる・江口阿里・中村智子・巳波景子・津越千佳

MTG ホームページ:<http://www.med.kutc.kansai-u.ac.jp/~meetg/>

ご意見・ご感想・配信停止:ieri_project@yahoogroups.jp

copyright(C) 2004 Meet the GLOBE Project
